



第24回 千代田まちづくりサポート 活動成果発表会



2025年4月20日(日)

公益財団法人 まちみらい千代田

Chiyoda city management foundation



参加される皆さまへ

活動成果発表会をスムーズに進行するため、以下の点にご協力ください。

<注意事項>

- ・携帯電話・スマートフォンをお持ちの方は、マナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- ・ビデオ・写真撮影は、ほかの参加者の妨げにならないように、ご配慮ください。
- ・会場内は禁煙です。
- ・持込物はすべてお持ち帰りください。
- ・事務局から指示事項があった場合は、ご協力ください。

<助成グループの皆さまへ>

- ・発表5分・質疑5分です（時間厳守）。
- ・審査会会長および副会長から全体講評がありますので、閉会までご参加ください。
- ・プログラム終了後、第25回募集概要等について、ご案内をいたします。

<肖像権について>

- ・会場内で記録用の撮影をします。
撮影した写真については、冊子、ウェブサイト、SNS（Facebook など）に掲載される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本冊子については、活動報告会用資料として各団体から提出されたものですので、二次利用を禁止いたします。



◆目 次

1. 助成グループ一覧（発表順）	1P
2. プログラム	2P
3. 第25回審査会委員のご紹介	3P
4. 活動成果報告書（一般部門）	4P
5. 年度報告書（普請部門）	42P



1. 助成グループ一覧（発表順）

発表 予定 時刻	部門	申請 回数	グループ名	代表者名 (敬称略)	助成額 (万円)	テーマ	
13:20	一般	1	ちよダン	野口 幸代	45	ちよだの合言葉となるダンスをつくろう	
13:30	一般	1	すなっくちよだ	花岡 火草	11	サードプレイスのような誰でも参加できる居場所づくり	
13:40	一般	1	アマルフィーファーム	松田 憲明	36	農業体験	
13:50	一般	2	一般社団法人 ちよママ	勝連 万智	50	SNSを活用した千代田区の子育て情報発信および、子育て世帯のネットワークづくり	
14:00	一般	2	エンジョーイ 歌ンターレ CHIYODA	加藤 茜	50	(た) 楽しく (ち) 力強く (つ) 繋がり (て) 手を取り (と) とともに千代田で歌おう	
14:10	〈休憩〉						
14:20	一般	2	tea plant club	加藤 幸子	42	メイドイン千代田の紅茶づくりプロジェクト	
14:30	一般	3	神田藍の会	伊藤 純一	50	神田を(愛)でいっぱい2024～Ai Love KandA～	
14:40	普請	令和2年度 (20回)	優美堂再生プロジェクト実行委員会	中村 政人	500	優美堂を再生しコミュニティ形成拠点として多様な文化活動を誘発する。	
14:50		令和元年度 (19回)	「神田珈琲園」再生プロジェクトチーム	八戸 建	500	JR神田駅高架下で創業60年、地域に愛され続ける『神田珈琲園』の再生	
15:00	〈休憩〉						

※普請部門については、助成年度（回）

※普請部門助成額は一次審査の10万円を除く

2. プログラム

12：40 受付開始

13：00 開会

理事長あいさつ、第 25 回審査会委員紹介、プログラム説明

13：20 活動成果発表

5 グループ(各グループ 発表時間 5 分・質疑応答 5 分)

14：10 <休憩>

14：20 活動成果発表

2 グループ(各グループ 発表時間 5 分・質疑応答 5 分)

14：40 年度報告（普請部門）

2 グループ(各グループ 発表時間 5 分・質疑応答 5 分)

15：00 <休憩> ※サポート大賞投票

15：15 全体講評(第 25 回審査会会長・副会長)

15：20 サポート大賞発表・受賞グループ記念撮影

15：30 第 25 回募集概要等のご案内

15：40 閉会・記念撮影

3. 第25回審査会 委員一覧

会 長	ごとう 後藤	ち か こ 智香子	東京都市大学 環境学部 環境創生学科 准教授
副会長	みとも 三友	な な 奈々	日本大学 理工学部 土木工学科 助教
委 員	たかみち 高道	まさし 昌志	東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 助教
委 員	たに 谷	ま り こ 眞理子	元千代田区青少年委員会 会長
委 員	せき 関	まゆみ 真弓	NPO 法人 都市住宅とまちづくり研究会 理事長
委 員	ほしの 星野	さとし 諭	一社) 移動式あそび場全国ネットワーク 代表
委 員	たくま 田熊	てつや 哲也	興産信用金庫 地域支援部 お客様支援課 地域振興担当課長
委 員	あかうみ 赤海	けんすけ 研亮	千代田区地域振興部コミュニティ総務課長

グループ名	ちよダン
活動テーマ	ちよだの合言葉となるダンスをつくろう
代表者名	野口 幸代

【活動目的】（300 文字以内）

在住・在勤・在学者で繋がり、イザという事に助け合える！
わたしたちは、「ちよだの合言葉となるダンス」をつくり、地域交流のツールとして笑顔の溢れる街づくりに貢献します。

「ちよダン」は、基本的にはペアになり、集団で動きをあわせるので、その場で動きを合わせればすぐにできる、初めての方でも安心のダンスです。目と目を合わせ、手と手を合わせるので、より親近感が沸きます。

この「ちよダン」を区内各エリアで実施し、「ちよだの合言葉」となり、千代田区に関わりのある方、ちよだが大好きな方、誰もが楽しめるそんな未来を目標に活動しております。

【1 年間の活動内容(概要)】（300 文字以内）

■区内の各エリア(麴町・富士見・万世橋)で交流会を行いました。

・最初は踊れるかなとおっしゃっている方も、イザやってみると笑顔がほころび、元気になる親近感がアップし良い雰囲気でおこなえました。

■他団体のイベントにも参加し、各イベントを盛り上げるという役割を果たせました。

・そこでも新しい出会いがあったり、他の団体との連携は有意義な活動でした。

■今年度の一番の活動は、「千代田区歌でオリジナルダンス」をつくり、「PV制作」をおこなえたことです。

・昨年は、どんな曲でダンスをつくるのかという事を話し合い、実現しました。出来あがったPVを持って、どんどん広めてゆきたいと思います。

【1 年間の活動実績】

計画どおりに活動出来ました！

◆ちよダン交流会を3つのエリアで開催

◆オリジナルダンスを完成させる

◆オリジナルダンスの踊り方PVを制作

◆日比谷公園打ち水

◆番町たき火まつり

その他に、追加で本とコーヒーのマルシェ、番九クリスマスマルシェ、ヒント展、ちよだまちの文化祭でちよダンの紹介や実際にダンスを楽しむ活動をしました。

	月	日	内容	備考・連携
①	7	21	ちよダンミーティング	オンライン実施
②		29	大噴水で打ち水 in 日比谷	日比谷公園・大妻女子大学
③	10	12	◎本とコーヒーのマルシェ	日比谷公園
④		31	オンラインミーティング	たき火まつり事前ミーティング
⑤	11	3	番町たき火まつり	番町たき火まつり実行委員
⑥		23	◎番九クリスマスマルシェ	大妻女子大学
⑦		24	◎ヒント展、パネリスト	ちよだコミュニティラボ:麴町区民館
⑧		27	第4回ちよダン交流会	麴町区民館
⑨	12	10	第5回ちよダン交流会	麴町区民館
⑩	1	7	第6回ちよダン交流会	麴町区民館
⑪		14	第7回ちよダン交流会	39base
⑫		28	第8回ちよダン交流会	万世橋区民館
⑬	2	15	ちよダン PV 撮影	万世橋区民館
⑭	3	2	◎ちよだまちの文化祭	ちよだコミュニティラボ:区役所
⑮		11	第9回ちよダン交流会	39base

① ちよダンオンラインミーティング

日時:7月21日 19:00~20:30 場所:オンライン 参加人数:4名

②大噴水で打ち水 in 日比谷公園

日時:7月29日 16:30~17:00

場所:日比谷公園噴水広場

内容:公園の来園者と共に打ち水とダンスをおどろう

主催:日比谷公園

協力:大妻女子大学染色デザイン研究室、一般社団法人エスコートダンス協会

参加人数:約70名 (うちメンバー4名)



エンタの街日比谷打ち水月間連携

「大噴水で打ち水 in 日比谷公園」



令和6年7月29日（月）
16:30-17:00
■日比谷公園噴水広場
■無料 ■予約、持ち物不要

真夏の暑さをしのぐための昔からの知恵「打ち水」やSDGsについて、また浴衣のお話などを聞いた後、みんなで一斉に打ち水します！ 打ち水のあと、環境意識の共有と地域交流をかねて、かんたんなダンスを行います。
 ●本場でいきますが、各自水分補給等の暑さ対策をお願いします。

■主催：日比谷公園（公益財団法人東京都公園協会）
 ■協力：一般社団法人エスコートダンス協会
 大妻女子大学染色デザイン研究室
 千代田区民自主団体ちよダン
 ■後援：千代田区

●問合せ先：日比谷公園サービスセンター 03-3501-6428



打ち水には大噴水の水を二次利用します



※桶や柄杓、ぞうさんじょうろは千代田区よりレンタル ※区長も来場
 ※日テレ、ニュース Zero でも放 ※東京都より参加者にオリジナル手ぬぐいを贈呈

③本とコーヒーのマルシェ

日時：10月12日 15:00～15:30

場所：日比谷公園草場広場

内容：本とコーヒーをテーマにしたマルシェで「ひびやでおどろう」で交流をはかる

主催：日比谷公園

参加人数：メンバー9名、参加者30名くらい



第 24 回 千代田まちづくりサポート活動報告書



④オンラインミーティング

日時:11月1日 10:00~11:00 オンライン 人数:2名

⑤番町たき火まつり

日時:11月3日 16:00、17:00、19:00(各30分)

場所:番町の森

内容:たき火を囲んで、みんなでおどって仲良くなろう

主催:番町たき火まつり実行委員会

参加者:メンバー8名 参加者120名(各回約40名×3回)



⑥番九クリスマスマルシェ

日時:11月23日 15:00~15:30

場所:大妻女子大学 H 棟と E 棟の間の道路

内容:代田区プレイスメイキング等の実証実験事業、来場者と一緒にダンスで仲良しに

主催:番九クリスマスマルシェ実行委員

⑦ヒント展

日時:11月24日 14:00~15:00

場所:麴町区民館

内容:みらいへつなぐこれからのコミュニティ・ちよだでの活動について

主催:ちよだコミュニティらぼ

ヒント展 <https://chiyolab.jp/archives/24784>



⑧ちよダン交流会

日時:11月27日 19:00~20:30

場所:麴町区民館

人数:2名

⑨ちよダン交流会

日時:12月10日 19:00~20:30

場所:麴町区民館

人数:4名



第 24 回 千代田まちづくりサポート活動報告書

⑩ちよダン交流会

日時:1月7日 19:00～20:30

場所:麹町区民館

人数:8名



⑪ちよダン交流会

日時:1月14日 18:00～19:30

場所:39base

人数:8名



⑫ちよダン交流会

日時:1月28日 19:00～20:30

場所:万世橋区民館

人数:6名



⑬ちよダン PV 撮影

日時:2月15日 14:00~16:00

場所:万世橋区民館

内容:ちよダン「区歌ダンス」の踊り方の PV 撮影と交流

主催:ちよダン

参加人数: 19名



第 24 回 千代田まちづくりサポート活動報告書

⑭ちよだまちの文化祭

日時:3月2日 13:00~16:00

場所:千代田区役所 1F 区民ホール

主催:ちよだコミュニティらぼ



⑯ ちよダン交流会

日時:3月11日 18:00~19:30

場所:39base

人数:6名



以上

【活動のなかで感じたこと】

- ・交流会やイベントを行うたびにメンバーが増えた
- ・今年度の目標の、ダンスが完成した
- ・PV の撮影に思ったより大勢の新しい方々に出演していただけた
- ・PV の完成を心待ちにされ、出演者から仕上がりはいつかと問い合わせがあった
- ・何より、参加者がみんな笑顔で仲良くなれて、新しい地域のつながりが生まれた

【活動に対する自己評価】

<良かったこと>

- ・交流会やイベントごとにメンバーが増えていること
- ・ちよだの合言葉となるダンスが出来上がった
- ・ちよダンのロゴマークができた
- ・区の掲示板に活動ポスター掲示することによって、認知度が高まり応援者が増えた
- ・PV を完成させた

<課題>

- ・次年度は、役割分担(担当者)をつくりたい
- ・エリアごとにリーダーをつくりたい
- ・区内の様々なイベントと連携してゆきたい
- ・まちサポの助成がなくても運営が継続できるように今から準備をする

【活動に対する外部評価】

ちよダン交流会にリピートして参加してくださる方が増えてきていることや、他の団体のイベントで発表の場が出来たり、6月には町会のイベントに取り入れて頂けることは、少しずつ私たちの活動の主旨や意義についてご賛同をいただけていると感じております。

また、ちよダン交流会や、PV 撮影のポスターを区の掲示板に掲示したところ、都度問い合わせがあり、私たちの活動に興味を持つ方が確実にいるという事は、活動の広がりと励みになりました。

【他助成グループや関係機関との連携】

- ・ちよだコミュニティラボ
- ・日比谷公園
- ・大妻女子大学染色デザイン研究室
- ・番町たき火まつり実行委員会
- ・エンジョーイ歌ンターレ
- ・鼓鍛冶
- ・ちよだ生涯学習カレッジ卒業生

【他の助成グループと共有したいノウハウ】

お役立ち情報として、「39base」をおススメいたします。

飯田橋駅東口、ホテルメトロポリタンエドモントの通り沿いにある、大和ハウス工業が地域交流の為のスペースがオープンしました。

会員登録すると無料で施設を利用することが出来ます。(要規約確認)
ちよダンも利用申請をして、交流会の会場として利用させていただきました。

【今後の活動スケジュールなど】

<定例会>

2か月に1回程度、区内の各エリアで実施
ブレストミーティングを実施(単発)

<イベント>

月	日	内容
4	20	東京キモノショー2025 ステージ出演
5	24	番町 SJE マルシェ
6	28	富士見二丁目町会イベント
8	1	日比谷公園打ち水

<未定>

7月有楽町夏祭り、8月大手町縁日
7月19日(土) えみふる夏祭り

<打ち水ジャック>

- ・5月23日(金) 栃木屋さんと実施
- ・予定:ちよだプラットフォームで実施

<制作物>

- ・ホームページ
- ・踊り方動画
- ・PV 第二弾

【まちサポ事務局への要望事項】

事務局様には、大変お世話になっております。もし希望するとしたら…
助成団体で集まる MeetUp(交流会)を復活していただきたいです。
団体同士の横の繋がりや、連携イベントを行ってみたいです。

第 24 回 千代田まちづくりサポート活動報告書

グループ名	すなっくちよだ
活動テーマ	サードプレイスのような誰でも参加できる居場所づくり
代表者名	花岡火草
【活動目的】（300 文字以内） 千代田区内の飲食店やシェアスペースを貸し切り、1 日スナックをオープン。区内在住者、在勤者に限らず、広くイベントを告知し、千代田区という場所をベースに新たなコミュニティ形成の空間を提供します。年齢問わず、サードプレイスのような誰でも気軽にアクセスできる居場所づくりを目指しています。 【1 年間の活動内容(概要)】（300 文字以内） 千代田区内にある飲食店を貸し切り、1 日スナックを開店しました。すなっくちよだのメンバーがママになってゲストを迎えます。2024 年度は夏、冬と 2 回開催。前年度から始めたワンコインタロット占いは好評につき、継続して実施しました。	

【1 年間の活動実績】

第 5 回

日時:2024 年 8 月 29 日 17:00～20:00

場所:CAFÉ&BAR 桜日和(千代田区役所内)

参加人数:18 人(スタッフ含む)、子ども 3 人

第 6 回

日時:2025 年 2 月 27 日 18:00～20:15

場所:カラオケ居酒屋 RAKURAKU(富士見エリア)

参加者人数:大人 27 人(スタッフ含む)、子ども1人



2025 年 2 月 27 日、カラオケ居酒屋 RAKURAKU にて

【活動のなかで感じたこと】

常連さんと新しく参加してくださる方と、いろいろな人が入り混じって、和気あいあいとした雰囲気が出来上がっています。また、スタッフよりスタッフな働きをしてくださる常連さんもいて、場を盛り上げてくれるなど自然と気持ちのよい関係が生まれています。スナックをメンタリングとして研究している方も参加してくれるなど、新しい気付きもありました。

【活動に対する自己評価】

町会の人、区内在勤者、区内小学校の PTA 役員、学生、子育て中のママ、起業家、専門家など、さまざまな人が偶然集まって情報交換が行われています。仕事のこと、おいしい店、地域の行事、育児、進学についてなど、今まで知らなかった「へえ～」があり、少しだけハッピーになる発見があると考えます。お気に入りの映画を話すように、まちのことを話したくなるような、巡りのよい人と人とのコミュニケーションを大切にしていきたいです。

【活動に対する外部評価】

地域住民や在勤者などからの評価は高いと感じています。普段接点のない人々が交流する場を提供し、地域のつながりを深めるための有意義な機会となっています。「普段は顔を合わせることがない近隣の人と話すことができた」「こうやって人が集まれるイベントは貴重」という声をいただきました。次回開催を楽しみにしてくれている人もいます。スナックという場だからこそ、人との距離が縮まりやすく、非日常感も味わえることが共感を得られているのかもしれません。

【他助成グループや関係機関との連携】

【他の助成グループと共有したいノウハウ】

X やインスタ、FB など SNS から告知を行うことで集客につながっています。

【今後の活動スケジュールなど】

神田、秋葉原エリアでの開催ができなかったので、開催したい。優美堂など、まちサポの活動報告会で出会った方で場所を貸してくれる可能性のあるところでも開催したい。

【まちサポ事務局への要望事項】

スナックが開催ができる施設があれば、紹介していただけると嬉しいです。

グループ名	アマルフィーファーム
活動テーマ	農業体験
代表者名	松田憲明

【活動目的】（300 文字以内）

千代田区六番町にあるビルの裏の空き地をファームとして利用し、農作業を通じた地域のコミュニティ形成を目的としました。種まき～育成～収穫という植物のサイクルを通して農作業の大変さを体験し、日々目にしたり口にしたりしている野菜や果物がいかに貴重なものであるかを再認識する等の食育的な観点や、地域の人たちと楽しく触れ合う機会をつくれたらよいと考えました。

【1 年間の活動内容(概要)】（300 文字以内）

野菜や果物を植えつけ、水やり、雑草除去～収穫を行います。
またビオトープを設置し、トンボの保護活動を行う予定です。

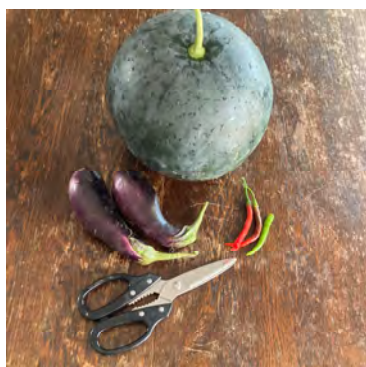
【1 年間の活動実績】

春にブルーベリー、ブラックベリー、スイカ、ナス、ピーマン、唐辛子等の苗を植えました。

その後は週に 1 回程度水やり、雑草取りなどの活動を 2～5 名程度の人数で実施し、適宜収穫などしました。

8月には立派なスイカが生育したため、近隣の空手教室生徒さんと一緒に収穫し、召し上がっていただきました。

ビオトープについては残念ながら設置にはいたりませんでした。トンボの保護活動をしている方に設置作業なども依頼する予定だったのですが、ご家族が重病を患ってしまったため依頼することができませんでした。



【活動のなかで感じたこと】

前年の「はじめて部門」の時からメンバーも増え、またメンバー以外の方との交流も生まれたことはうれしく思いました。

スーパーで売っているようなスイカを自分たちで育てられたことは大変貴重な体験でした。

【活動に対する自己評価】

前年よりもメンバーが増えたものの、一度も参加しないまま終わってしまった方もおり、スケジュール調整も難しさ、個々のモチベーションの維持などに難しさを感じました。

【活動に対する外部評価】

在勤含む地域の方にファームを見学いただき、ミントを持ち帰っていただきました。（もともとは4階のレストランに来た方がパンフレットを読んでいただき興味を持っていただきました）

通年で10名弱の方に見学いただきました。

【他助成グループや関係機関との連携】

特別にありません。

【他の助成グループと共有したいノウハウ】

特別にありません。

【今後の活動スケジュールなど】

より長く続けていける仕組みを構築できればと考えております。

【まちサポ事務局への要望事項】

特にありません。

グループ名	一般社団法人ちよママ
活動テーマ	SNS を活用した千代田区の子育て情報発信および、子育て世帯のネットワークづくり
代表者名	勝連万智
【活動目的】 当団体は、千代田区の子育て世帯が必要な情報をスムーズに受け取れるよう、SNS (Instagram・Facebook・LINE Business) を活用した情報発信を行っています。行政・企業・個人が発信するイベントや施設情報を一元化し、子育て家庭にとって有益な情報をタイムリーに届けることを目的に活動してきました。団体内だけではなく、地域の情報発信力を高めるため、SNS に詳しい専門家を招いた講座を地域住民向けに開催し、効果的な発信方法を学ぶ機会を提供。子育て世帯だけでなく、地域全体で情報共有のネットワークを強化し、より支え合える環境づくりを目指しています。 【1 年間の活動内容(概要)】 Instagram・Facebook・LINE Business などの SNS を活用し、子育て世帯向けの地域情報を発信しました。区内の最新情報を保護者目線でまとめ、タイムリーに共有することで、地域の情報アクセス向上に貢献しました。LINE では毎週金曜に週末のお出かけ情報を配信し、Instagram ではほぼ毎日イベントや施設を紹介。また、昨年に引き続き SNS の基礎知識や動画編集を学ぶ講座を区内で開催し、各種アプリの機能も学習しました。今年新たに配信メンバー同士の交流会も実施し、情報発信の輪を広げる機会を作っています。昨年以上に活動の幅を広げ、より多くの方に役立つ情報を届けることができたと考えています。 【1 年間の活動実績】 □Instagram フォロー数 →805 フォロワー(助成金申請 2023 年 7 月時) →1069 フォロワー(2024 年 3 月 31 日時点) →1510 フォロワー(2025 年 3 月 31 日時点) ※直近 1 年間で 441 名のフォロワー増加 <インサイト> ・3 か月の平均閲覧数:170,526 (1 カ月平均:56,842) (フォロワー外:43・8% フォロワー56・2%) ・3 か月の平均リーチアカウント:31,886 (1 カ月平均:10,628) <成果> ● ほぼ毎日、ストーリーズで地域のイベント情報を配信。住民への情報提供を強化。 ● 区内イベントの参加レポートや遊び場の様子をリール動画として投稿開始。視覚的な発信を強化し、投稿のリーチ向上を図る。(動画コンテンツの活用により、投稿のエンゲージメントが向上。)	

- 近隣区外の情報も少しずつ発信し、広域のイベントや施設の情報提供を開始。利用者の関心を広げる。
- Google フォームを設置し、イベント告知希望者を募集。地域の団体・個人との連携が生まれ、情報共有の場を拡大。
- 区内の出張所や保育園等にちらしやポスターを配布しそれらを見てフォローをしてくださる方も増えた。

<計画との相違点>

- 育休・産休の有無や子どもの成長状況により、投稿頻度に大きな差が発生。
- 一部のメンバーが発信を続ける形になり、想定ほど投稿数が伸びなかった。
- SNS 運営メンバーを 1 年任期制で募集したが、金銭以外のモチベーション維持の仕組みが不足し、継続性に課題があった。
- メンバー同士のリアルな交流を深める懇親会を 1 回しか開催できなかった。
- Instagram 内でフォロワーに定期的なアンケートを実施できなかった。(相互コミュニケーションの強化が未達成)
- インスタライブなどの双方向の交流企画に至らなかった。
- 毎月の広告運用は行わず、ある程度のリーチがあれば広告なしで対応した。

□LINEBusiness

登録数

→364 名(助成金申請 2023 年 7 月時)

→581 名(2024 年 3 月 31 日時点)友達追加 667 名

→675 名(2025 年 3 月 31 日時点)友達追加 810 名

※直近 1 年間で 94 名のフォロワー増加・143 名のお友達追加

<成果>

- 毎週金曜日に週末のお出かけ情報を配信。
- 「ちよママ」からの情報発信により、地域イベントや催し物への心理的ハードルが下がり、参加率向上に貢献。

<計画との相違点>

- 大きな相違はなかったが、配信内容の精査が今後の課題。
- 登録ハードルの見直しが必要(現状は区内在住の証明を求め、一定の層を担保するために住所を提出してもらっているが、その運用の是非を再検討すべき)。※お友達追加が多いため。今後はセグメント別の配信なども検討すべきか？
- よりスムーズな登録フローと、ターゲット層の適切な設定について改善の余地あり。

□SNS 講座開催

①11/2(土) SNS 講座:第一弾「たった 1 日で動画編集ができちゃう! CapCut の使い方をマスターしよう」

場所:万世橋区民館 8 階洋室 EF

申込:12 名

②11/9(土) SNS 講座:第二弾「ショート動画にチャレンジ! クリエイターと一緒に作るトレンド動画」

場所:万世橋区民館 7 階洋室 AC

申込:8 名

③12/14(土)SNS 講座:第三弾「初心者向け! Canva の使い方・基礎を学ぼう!」

場所:麹町区民館 地下 1 階洋室 AB

申込:15 名

<成果>

- 去年 2 回だった講座を 3 回に増やすことができた。
- SNS の中でも特に簡単に使える無料アプリを題材にしたことで、「SNS に興味はあるが本格的ではない層」も多く参加いただけた。
- 去年の反省を活かし、レベル別の内容を打ち出すことで、参加者の理解度に応じた講座運営ができた。
- 子どもの参加もあり、親子で学べる場としての価値も提供できた。

<計画との相違点>

- 開催時期が集中してしまい、年間を通じた分散開催ができなかった。
- 開催場所が 2 か所に限られ、地域的な広がりを持たせることが課題として残った。
- 参加者の多くが女性であり、男性の参加を増やす工夫が必要。



【活動のなかで感じたこと】

活動を続ける中で最も嬉しかったのは、新しい投稿者を募集した際に、「地方から千代田区に引っ越して心細かった時、この Instagram を見て子どもとお出かけができた。次は自分が誰かの力になりたい」と応募してくれた方が複数いたことです。また、地域向けの無料投稿依頼フォームにも毎月多くの情報が寄せられるようになり、住民同士がつながる場として機能していると実感しました。私たちの発信が誰かの一步を後押しし、さらに新しい輪を生み出していると感じ、大きなやりがいを得ました。これからも、地域のハブとして役立つ情報を届け、支え合えるコミュニティを育んでいきたいと思います。

【活動に対する自己評価】

この 1 年間、SNS を活用した情報発信を行い、地域の子育て世帯に役立つ情報を届けることができました。特に、無料投稿フォームの活用や新たな投稿者の増加を通じて、住民同士のつながりを生む場としての役割を果たせたことは大きな成果です。しかし、運営を進める中で、投稿のムラやモチベーション維持の難しさといった課題も明らかになりました。

配信者の多くがママであり、育休・産休の有無や子どもにかかる負担によって投稿頻度に差が出るため、一部のメンバーの負担が大きくなり、想定よりも投稿が伸びませんでした。また、得意なエリアやテーマに情報が偏りがちで、千代田区全体へのアプローチが不足していた点も改善の余地があります。さらに、イベントの開催時期が集中しやすいため、年間を通じてバランスよく企画を進めることも今後の課題です。

持続的な運営のためには、助成金に頼らず継続できる仕組みを模索することが急務です。どこをキャッシュポイントとするのかを検討し、地域のニーズに合った形で収益化の可能性を探ることで、長期的に運営できる体制を築いていきたいと考えています。

【活動に対する外部評価】

活動に対する外部の反応として、「SNS を通じて地域のイベント情報を知ることができ助かっている」「子育て世帯だけでなく、地域のさまざまな世代にも役立つ情報が多い」といった声をいただいています。

今後期待されている取り組みとしては、地域商店と連携し、クーポン配布などを通じて新たな層へアプローチする取り組みも模索中です。また、地域に関するアンケートや意見交換会を SNS 上で実施し、住民の声をより反映できる仕組みづくりも検討しています。

さらに、今後は災害時の情報共有の場としても活用できる可能性があると考えています。日頃から地域のつながりを築くことで、いざというときに迅速に役立つ情報を届けられる情報ハブとしての役割を果たせるよう、今後の発展を目指していきたいです。

【他助成グループや関係機関との連携】

SNS でのイベント告知

- ・ちよダンさん(助成グループ)
- ・九段生涯会館
- ・社会福祉協議会
- ・千代田区
- ・各児童館
- ・児童家庭支援センター
- ・各大学(共立女子大学・大妻女子大学・明治大学 等)
- ・MIW

【他の助成グループと共有したいノウハウ】

1. SNS を活用した情報発信

SNS を活用することで、幅広い層の保護者に情報を届けられます。イベント告知だけでなく、役立ち情報や活動レポートを発信することで、サークルの魅力を伝え、参加しやすい雰囲気を作れます。また、オンラインアンケートを活用して参加者の意見を集めると、よりニーズに合ったイベント企画が可能になります。

2. 区内のさまざまな区民館を活用

開催場所を特定の施設に固定せず、千代田区内のさまざまな区民館を利用すると、地域ごとに異なる住民の参加を促せます。アクセスしやすい場所を選ぶことで、新規参加者も増え、サークルの活動がより広がります。

【今後の活動スケジュールなど】

1. SNS を活用した子育て情報発信

- **イベント告知・活動レポートの発信**
Instagram・LINE・FB を活用し、区内情報や子育てイベント情報を定期的に発信。時には活動の様子を写真や動画で紹介し、参加しやすい雰囲気を作る。
- **子育てに役立つ情報の共有**
千代田区の子育て支援制度、遊び場情報、親子向けイベント情報をまとめて発信。自治体や地域団体と連携し、最新情報を届ける。
- **育児のリアルな声を発信**
子育ての悩みや工夫を共有する投稿を行い、共感や交流を生み出す。フォロワー参加型の企画(アンケート・Q&A など)も実施。

2. 子育て世帯のネットワークづくり

- **オンラインコミュニティの運営**
LINE オープンチャットを活用し、気軽に育児相談や情報交換ができる場を提供。地域ごとのグループを作り、近隣の親同士のつながりを促進。
- **SNS を活用したマッチング企画**
「近くに育児仲間がほしい」「同じ年齢の子どもを持つ親と交流したい」といったニーズに応え、共通の関心を持つ保護者同士がつながる機会を提供。
- **オンライン交流会・ライブ配信**
育児経験者や専門家を招いたトークライブや、リアルタイムで質問できる座談会を定期開催し、情報交換や学びの機会を提供。

3. SNS 関連講座の開催

- **親向け SNS 活用講座**
「子育て情報を上手に集める方法」「安全に SNS を使うポイント」などを学ぶ講座を開催。
- **地域事業者向け SNS 講座**
地元の子育て支援施設や小規模事業者向けに「Instagram や LINE を活用した集客・情報発信」の講座を実施し、地域全体で子育て支援の輪を広げる。

4. LINE Business を活用した地域巻き込み型のクーポン配信

- **地域のお店と連携したクーポン配信**
LINE 公式アカウントを活用し、親子で利用しやすい飲食店・雑貨店・遊び場などのクーポンを配布。地域の商店街と連携し、子育て世帯の外出を促す。
- **イベント参加者向け特典**
イベント参加者には、地域の協力店舗で使える特典を提供し、地域とのつながりを深める。

5. 防災関連の情報発信・イベント

- **SNS での防災情報共有**
災害時の避難情報や、子ども向けの防災対策を SNS で発信。
- **親子防災ワークショップ**
防災士や自治体と連携し、親子で学べる「防災体験イベント」を開催。備蓄品の活用法や避難所での生活の知恵を学ぶ。
- **地域防災ネットワークの構築**
LINE グループなどを活用し、子育て世帯同士が助け合える体制を整備。いざというときに支え合える地域のつながりを強化。

【まちサポ事務局への要望事項】

1. 専門家との連携支援

- 育児・発達・防災・SNS 活用などの専門家を紹介いただき、講師として招ける機会を増やしたい。
- 区の子育て支援センターや保健センターと連携し、親子向けの相談会を共同開催したい。

2. 地域事業者や団体との橋渡し

- 地元の商店・企業・飲食店と連携し、子育て世帯向けの特典やイベント協力の機会を増やしたい。
- 他の子育て支援団体との交流会を設け、活動の相互支援や情報交換の場を作りたい。

グループ名	エンジョーイ歌ンターレ CHIYODA
活動テーマ	(た) 楽しく (ち) 力強く (つ) 繋り (て) 手を取り (と) とともに千代田で歌おう
代表者名	加藤茜
【活動目的】(300 文字以内) 千代田区には今も昔も多く音楽家が在住しています。山田耕柝、瀧廉太郎など、日本を代表する音楽家が、千代田区在住だったという事実があまり知られていないように感じます。活動の柱は 3 本あります。1つ目は、千代田区ゆかりの音楽家について、楽しく歌う。2つ目は、千代田区ゆかりの音楽家や文人を巡る街歩きツアー。3つ目は専門家をお呼びし、レクチャー、コンサートを開き、その中でエンジョーイも歌の成果を発表する。一緒に千代田区の音楽家の作品を歌うことで、千代田区民の交流を深めることを目的としています。 【1 年間の活動内容(概要)】(300 文字以内) 活動の3つの柱を実践しました。 ①千代田区ゆかりの音楽家について、楽しく歌いました。今年度は 7 月までは月1～2 回開催。年明け 1 月から、3 月のコンサートに向け、月1回練習を重ねました。 ②千代田区ゆかりの音楽家や文人を巡る街歩きツアーを 3 月 9 日に開催しました。 ③専門家をお呼びし、コンサートを開催しました。レクチャーはチェンバロとチェロ、コンサートは、合唱団を招き、瀧連太郎、山田耕柝、中田喜直を取り上げて、エンジョーイの成果発表も行いました。 【1 年間の活動実績】 2 年目は、今までの活動を継続しながら、よりメンバーが増やせる内容にブラッシュアップしていきかけた。 1 区歌作曲家である山田耕柝、瀧廉太郎など複数の作曲家を加えたコンサートの開催。 2 街歩きツアー開催。 3 不定期に、運動や、音楽指導の講師をお呼びして、メンバーの研鑽をつむ。 4 廃校になった千代田区の小中学校の校歌も紹介していきたい。(検討中) 5 サークル活動する上で使用する、資料の作成。 上記が計画ではあったが、4については、下準備に、もっと時間が必要と分かり、こちらの活動については、無しとした。 5については、歌集の作成を計画したが、著作権の問題、まとめるための時間が必要で、今回は一旦延期とした。	

3つの活動の柱の実践

1 街歩きツアー

音楽家、文人をたどるツアー

四ツ谷駅から半蔵門まで約 1 時間 30 分コースを歩く。

参加は 4 名、寒い日で、体調不良の方などもいらして、参加が少なめではあった。



2 レクチャー 参加者 28 名

チェンバロ、チェロを中心としたコンサートを開催。

神保町に、チェンバロを作る方では先駆者の方の工房がありました。千代田区出身、在住者の方。その方のお知り合いのチェンバロ奏者の方を講師としてお呼びして、楽器について説明を交えながら、演奏をしていただいた。



チェロは斎藤秀雄氏が千代田区在住であったこと、(世界的指揮者小澤征爾など数々の音楽家を育てた)その孫弟子にあたる方に講師としてお呼びして説明、演奏していただいた。

チェンバロとチェロを伴奏に、千代田区ゆかりの音楽家、瀧廉太郎、山田耕柞、中田喜直の歌を演奏していただく。

千代田区歌、ふるさと、については、会場と一緒に歌った。

通常とは違う伴奏が、とても新鮮だった、大正箏のような、懐かしい日本風の音色を感じた、などという感想をいただいた。

3 コンサート

開催場所が、いきいきプラザが工事中で使えないとのことで、万世橋区民館も候補として出たが、取り上げる作曲家が番町関連だったため、番町エリアで開催できる場所を探した。結局、番町教会での開催が決まった。



4 その他

千代田区文化祭への参加をしました。その中で、ちよダンさんと一緒に、千代田区歌を歌い、踊るということが出来ました。他の団体とご一緒させて頂けたのは初めてだったので、楽しい経験でした。

5 千代田区ゆかりの音楽家を歌う会

月1～2回集まって開催。開催日時を代表の都合により、水曜から土曜、日曜に変更したため、参加者が減ったこともあり、4～7月まで開催し、その後、1月から再開した。

【活動のなかで感じたこと】

レクチャーで、どうしてもチェンバロが聴きたくて、来たというご年配の方がいらっしゃいました。実際に聴くことが叶い、非常に感動していらっしゃいました。

メンバーの中に、体調不良の方もいらっしゃり、コンサートへの出場を悩まれた方もいらっしゃいました。ですが、最後には「出演できて、とても楽しかった、」と嬉しそうに話していらっしゃいました。

メンバーの方で、出演はされなかったが、観客として最前列でコンサートを拝見してくださり、大きな拍手でコンサートを盛り上げて、何より楽しんでいらっしゃったこと。

コンサートでは、プロの人と一緒に歌えて、とても上手になった気分で歌えて楽しかった。

プロの合唱団の方が、教会の響や場所を気に入ってくださった。この場所を使ってくださる可能性もできました。

【活動に対する自己評価】

歌の会について、区報など、広く募集をかけたかったが、場所が未定では募集がかけにくく、自分の周りでは声掛けも限界があるため、どのように広報し、活動を広げていくかが難しかった。

場所は九段生涯学習館か、神田スポーツセンターで実施したが、毎回抽選で場所や日程が決まるのが遅くなっていることも、募集がしにくかった。

また、代表の都合で開催日時を平日から土日に変更したため、集まりが悪くなってしまったこともあり、参加者をどう募るのか、ということについては、課題になっている。

また、発表の場所がないと集まりが悪いということもあり、コンサートに向けて練習をする、という形で募集をかけると良いのではないかな。

コンサートについても、当初予定していたいきいきプラザ一番町のホールが工事中となり、別の場所を確保するのに時間がかかってしまいました。

また、万世橋区民館も使わせていただけることになり、コンサートについては、開催は番町エリアに拘りたかったので、万世橋区民館では、神保町にあったチェンバロ工房に焦点をあてレクチャーを開催しました。

【活動に対する外部評価】

千代田区にゆかりの音楽家がこんなにいるとは、知らなかった。ということをし、特に、街歩きの時にお声としていただきます。

【他助成グループや関係機関との連携】

ちよダンさんとは、3月2日のちよラボ文化祭の際に、一緒に千代田区歌を歌い、踊る、体験を開催しました。

【他の助成グループと共有したいノウハウ】

特にありません。

【今後の活動スケジュールなど】

昨年度は出来なかった、千代田区の校歌を集めた会が実現出来たら良いと思っています。

【まちサポ事務局への要望事項】

まちサポを通じて、イベントのお知らせ、チラシを千代田区の施設においていただけるなど、広報部分を継続してほしい。

グループ名	tea plant club
活動テーマ	メイドイン千代田の紅茶づくりプロジェクト
代表者名	加藤幸子

【活動目的】（300 文字以内）

私たち“tea plant club”は、メイドイン千代田の紅茶作りを目標に活動しています。

活動の基本である「茶の木の栽培」に関しては、現在、「駿河台三井住友海上ビル」、「番町の森」、「興産信用金庫市ヶ谷支店」の 3 か所においてプランターを用いた栽培を行っており、九段下「かがやきプラザ」5 階のテラスでは、直植えで 50 株ほど栽培しています。

また、お茶の魅力を区民の皆様に広く知ってもらい、活動の仲間を募ることを目的とした各種イベントを開催しています。

【1 年間の活動内容(概要)】（300 文字以内）

駿河台三井住友ビル、番町の森、興産信用金庫市ヶ谷支店のプランター栽培について、日常的な水遣りのほか、整枝（枝の剪定）や施肥などの手入れを継続して行っています。今年度から運用をはじめた「かがやきプラザ」の茶畑においては、日常的な手入れの他、土壌改良や日除けの設置など改良を加えました。

また、千代田区社会福祉協議会と連携して「かがやきプラザ納涼祭」、「かがやきプラザクリスマスイベント」に参加出店し、tea plant club 主催のイベントとして、9 月には番町の森にて近所の子どもたちと茶摘み体験、令和 7 年 3 月には「レアな紅茶の飲み比べイベント」を開催し、参加者の方々にもご好評いただきました。

【1 年間の活動実績】

＜茶の木の栽培について＞

- ・「駿河台三井住友ビル」、「番町の森」については順調に生育している一方、「興産信用金庫市ヶ谷支店」に設置した二株の内一株が、同一条件下にも関わらず育たなかったため回収しました。

- ・令和 6 年に整備をはじめた「かがやきプラザ」5 階のテラスの茶畑は、害虫の発生、異常な猛暑、屋上庭園に特徴的なビル風の影響による病気の発生など、想定外の障害が確認されました。土壌改良や日除けの設置など対策を施しましたが、来年以降も油断せずに観察と手入れを継続していきたいと考えています。

第 24 回 千代田まちづくりサポート活動報告書

<イベントについて>

・これまでの tea plant club 主催のイベントに加え、千代田区社会福祉協議会と連携した活動を開始することが出来ました。「かがやきプラザ納涼祭」ではアイスティーを、「かがやきプラザクリスマスイベント」ではクリスマスティーをそれぞれこだわりのお茶として提供させていただきました。今後もお楽しみいただけるよう、参加していきたいと考えています。

・tea plant club 主催のイベントとして、番町の森にて茶摘み体験を開催しました。収穫できる茶葉がまだまだ少ないため茶摘み体験としてどのように進行していけるか、楽しんでもらえるか試験的な開催として一家族（4名）をご招待しました。一鉢につき親子で茶摘みをしていただくことができ、また、日本テレビの担当者の方にもご参加いただき、大人の茶摘みも大いに楽しんでいただけると実感することができました。



・令和7年3月には「レアな紅茶の飲み比べイベント」を開催しました。今回は男性やご夫婦での参加など、これまでより関心を持ってくださる方の裾野が広がってきたように思います。また、お茶のイベントとはいえ、開催内容によりお茶に対する関心度の違いを感じており、特に、今回のレアな紅茶の試飲会では、紅茶を飲むことだけが好きな方々かと思いきや、茶葉を育てることに大きな関心を示してくくださる方が一番多くいらっしゃいました。お茶に関わる様々なイベントを行っていく必要性を再確認しました。

【活動のなかで感じたこと】

・かがやきプラザのミニ茶園はリハビリ施設が隣にあり、歩行訓練などをされている多くの方々が関心を寄せて下さいました。比較的年齢の高い方が多いためか、茶の木を身近に育った思い出話を話してくくださる方や、茶摘みができるようになったら参加したいと声をかけてくださる方など、とても嬉しかったです。プランター栽培とは違った課題に苦労しているなかで、たいへん励みになりました。

・レアな紅茶の試飲会の開催について、このようなイベントを千代田区で楽しめるとは思いませんでした。多種の紅茶を試飲するというのは難しいことなので、とても嬉しいです。ありがとうございました！とのお声をいただきました。

【活動に対する自己評価】

・まちサポ事務局の方々のご仲介でかがやきプラザに栽培の拠点ができたことで、社会福祉協議会の方々の協力も得られるようになり、またイベントにも参加させていただき、活動が広がった一年でした。イベントだけでなく、活動に参加してくれるメンバーも少しずつ増え、手応えを感じることでできた一年でした。

・かがやきプラザが活動の中心になりつつあるため、ハード（テラスの活用）とソフト（各種イベント）の両面で区民の交流に多少なりとも貢献できているとは自負していますが、平日に活動することが難しいため、千代田区在勤在学者との交流が今後の課題と考えます。

・SNS（イン스타그램）を活用した情報発信を始めましたが、千代田区民に対する情報発信に限って言えば区の広報の方が目に見える効果があり、SNS の利用法についても工夫が必要だと感じました。

【活動に対する外部評価】

・こちらからの提案にご協力いただけるだけでなく、社会福祉協議会の方々からもご提案をいただくほか、千代田区立障害者福祉センターえみふるの『ちよだんごカフェ』や、社会福祉協議会アキバ分室からも声をかけていただき、期待していただけていることを実感しております。

・「東京都心部におけるミニチュア茶畑と茶とつながるコミュニティの快適性」というタイトルで研究発表をさせていただきました。研究者、茶の生産者、朝日新聞社、日本農業新聞社の方々に千代田まちサポートの助成受け「メイドイン千代田の紅茶づくりプロジェクト」の活動を進めていることを改めて伝えることができました。千代田区ということもあり、全国からの期待値も高くなりましたが、地道に活動を続けていく更なる決意となりました。

【他助成グループや関係機関との連携】

・上記と重なりますが、かがやきプラザだけでなく、えみふるの『ちよだんごカフェ』、社会福祉協議会アキバ分室より紅茶試飲会の開催依頼他、今後のイベント開催連携を強化していきたい。

・ちよだコミュニティラボ「未来へつなぐ これからのコミュニティヒント展」パネル展示・交流会に参加をさせていただきました。今後、体験会などに参加するなど連携を深めたい。

【他の助成グループと共有したいノウハウ】

特にありません。

【今後の活動スケジュールなど】

・昨年の活動報告で、『屋上やプランターによる茶の木栽培に関しては情報が不足しているので、気温や降雨、水やりの頻度、施肥などのデータを集めて、広く公開していきたい』と述べましたが、時間も人出も足りず対応できませんでした。あまり一度に欲張らず、今年度は SNS の更新頻度を上げることを目標にしたい。

・これも昨年掲げた方針ですが、夏場の水やりなど状況によっては危険なため、熱中症などの事故がないように無理のない範囲で活動を進めていきたいと考えています。

【まちサポ事務局への要望事項】

特にありません。

第 24 回 千代田まちづくりサポート活動報告書

グループ名	神田藍の会
活動テーマ	神田を藍(愛)でいっぱい2024 ～Ai Love KandA～
代表者名	伊藤純一

【活動目的】

神田はかつて神田紺屋町があったように藍と縁が深い。しかし現在街はビルに囲まれ、人の顔が見えづらく、新旧住民・多世代の交流、街の緑化、防災など課題は多い。

神田藍の会は、藍を育てることで心身のストレスの軽減と、子どもから高齢者までが日常やイベントで顔をあわせるきっかけとなり、ともに学び、育てる楽しみとなり、藍が人と人、人と街、人と歴史・文化を結び合わせると考える。

また栽培を通して街の多様な場所で、長期的な視点で交流を行うこと。藍が個人から企業の方同士をも結び合わせ、課題軽減につながるサポートすると同時に、会として自律するしくみを構築し、多様な方が主体的にかかわる方向性を目指していく。

【1 年間の活動内容(概要)】(300 文字以内)

春の種蒔き、初夏の里子苗配布、夏の刈取りと染め、秋の街歩き、冬の種取り・交流会、そして次の年へという自然サイクルを体感しながら各メンバーが楽しみ、主体的に活動できた。夏の水やりなど苦労もあるが、地域活動に参加し多角的な視点でのアイデアを得て毎月の定例会にて共有。デジタルの活用で、議事録や連絡の事務量を軽減。また神田藍の会ラジオ(FM と WEB)をスタートし活動の普及に力を入れた。イベント出店、街の方や徳島等地方との交流、かがやきプラザ様での活動開始による高齢者の方や保育園児との関係が結べた。

次年度以降の自律した活動継続のため、企業や大学、地域との連携、寄付・会費などについて、検討を始めている。

【1 年間の活動実績】

月	内容
4月	・藍の栽培 定例会毎月第3火曜日(オープンダイアログ形式 限定配信) (2024年3月24か所からスタート)
5月	・かがやきプラザ藍栽培開始 ・協賛サポーター制度導入 ・和泉橋鯉のぼり祭り 藍染吹き流し製作参加 ・興産信用金庫本店様、神保町支店様、神田明神様、五十稻荷神社様、楓屋様、神田学会様、神田倶楽部様、ハゴロモ、柳森神社、豊島屋様、九段生涯学習館様栽培開始、個人宅
6月	・オンラインでの栽培情報交流サイトWeAReel活用 ・神田藍の会ラジオ(中央FM)配信開始 藍の紹介・街や街の方々の紹介等

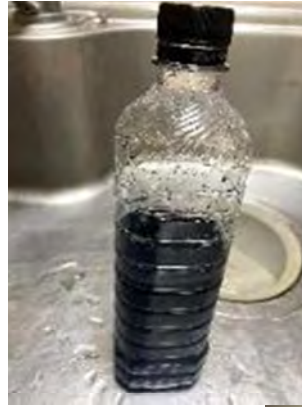
第 24 回 千代田まちづくりサポート活動報告書

7月	・オンラインWEBラジオ(スタンドFM)神田藍と街の方々インタビューと配信開始 ・事務所にて、七夕感謝祭開催(メンバーと地域の方、新しい方との交流会) ・藍の一番刈り・生葉染め体験会 ・高齢者福祉施設でのたたき染め体験会
8月	・かがやきプラザ生葉染め体験、地域コミュニティで生葉染め体験会開催 ・興産信金神保町支店生葉染め体験会 ・藍の二番刈り・沈殿藍の製作 ・東松下町会 納涼まつり出店 生葉染め体験会 ・地域の子供達、地域の方への里子苗の提供
9月	・出世不動通り大人縁日たたき染め体験会 ・藍の三番刈りと糸染めなどの製品化検討(運営資金化準備) ・長野県、徳島県、栃木県など他県との交流(藍栽培交流)
10月	・川端緑道BATON PARK出店 10/14-26(新規入会・予約栽培・グッズ販売・神田の街の紹介・交流など) ・神田キリスト教会様バザー たたき染め出店
11月	・神田縁起市参加たたき染め体験 ・鍛冶町二丁目watageさんとのコラボ ・街パススタンプラリーでオリジナルコース設定(未実施) ・感謝祭(他の千代田区内団体との交流)(7月及び千代田会議参加) ・親子自然イベントへの協力(親子街歩きへの協力)
12月	・会のチーム的運営方法について検討(来期以降について対話) ・千代田してみたいこと会議参加・藍コラボ(保育園・バック、アクセサリ制作) ・企業のコミュニティスペース(39base)サポート打合せ
R7年 1月	・徳島県高校生とのオンライン交流 ・千代田せいが保育園と柳森神社藍観察散歩
2月	・NPO 法人神田学会様 主催事業協力 ・かがやきプラザ藍、ハゴロモ藍、神田明神藍、柳森神社藍などのタネ取り交流会
3月	・乾燥葉染め体験(片山のれん工房にて) ・大妻女子大学にて藍グッズお試し制作・アイデアだし交流会 ・藍の土づくりと情報交換会(健康な土づくり) ・神田明神様、柳森神社にタネの奉納(2月) ・1Day Fun Live@CHIYODA まちの文化祭参加 ・令和 7 年度神田藍栽培スタート オンライン神田一斉種蒔きの日(3/15) ・令和7年度の神田藍の会の計画づくりと、次期運営のための企画会議 ・新規ホームページ制作・ドメインの取得・会費制度の導入を検討 3/31現在: 主要メンバー15名 / 栽培箇所:23か所(法人団体)個人8か所 WeaRee!交流サイト登録者40名

第 24 回 千代田まちづくりサポート活動報告書



和泉橋鯉のぼり(右端)



沈殿藍製作 藍のお茶づくり



かがやきプラザ藍



七夕感謝祭



配布里子苗セット

第 24 回 千代田まちづくりサポート活動報告書



かがやきプラザ生葉染め(社会福祉協議会)



興産信金様生葉染め



納涼祭り染め体験



神田縁起市たたき染め



バトンパーク出展 たたき染め



藍の会 定例会&ラジオ 2024年11月19日 ラジオは3時間後くらい
神田藍の会ラジオ収録

【活動のなかで感じたこと】

- 1) 新しい仲間の参画と交流、他の方や施設への紹介
 - 地元の方から、祭りやイベントの紹介。出店・参加によって藍の紹介ができた
 - イベント・祭りなどへの参加をすることで街の方との交流できた
- 2) かかわる方の主体的な動き、関係づくりが大切であること
 - 関わっているメンバーが主体的に行動し、関係づくりが広がることで多様なアイデアへ
 - 染め体験からグッズ開発までお試し体験の場をつくることができた
 - かがやきプラザ 5 階テラスや 12KANDA 事務所など、メンバーが交流しやすい場ができた
- 3) デジタルやラジオの活用で多くの方に知っていただくきっかけづくりができた
 - 交流サイトの活用や、定例会の Youtube 限定配信で、誰でも参加できるオープンな場
 - ラジオ配信による会の情報発信と、街の方との交流・歴史文化を学ぶ

【活動に対する自己評価】

関わる方が楽しみながら主体的に動いてくださっており、様々な体験やイベント・交流が自発的に生まれている。植物相手のため成功も失敗もあることが、反対に「物語」として厚みを作っていると声があがると同時に、シーズンに入ると皆で、「今年も頑張ろう！」と結束力がでてきている。

自律した継続的な活動のための対話を毎月開催。メンバーの中から資金面、グッズ化、会費制度など新たな取り組みについて意見がでてきている。

- 地域の様々な場所で「神田藍の会を知っている」という声をきくことができ嬉しかった。
- メンバーだけでなく、地域の方が体験を通した活動に参画することで、街の自然や地域の未来について「自分事」としてとらえられるようにした。
- 各メンバーの得意な分野を活かしつつ、無理なく楽しく行うことで、主体的な取り組みができるようにした。
- 活動が多岐にわたり、運営事務も増えてきたことから、ホームページを新規に立ち上げ、情報を集約し、誰でも気軽に情報を得られるようにする(R7 年 4 月以降)

【活動に対する外部評価】

- 神田藍が媒介となり、地域との連携が薄い新しい住民と会話しあうきっかけとなつてほしい。
- 藍の栽培を通して、マンション・ビル内の防災・防犯に役立つのではないかと声が多い。
- イベント等で集まるきっかけや自宅や会社でも栽培できる。日常で自然との関わりがもてる。
- 自分で育てていることから、様々な成功も失敗も体験出来て、もっとやりたいと感じられる。
- 前から興味があった藍について、仲間と語り合える、体験できる場があるのが嬉しい。
- 神田藍の会の応援をしたい。(藍の会応援隊＝ちよだ藍 LOVE)。街にもっと藍を増やしてほしい、藍のグッズ化を楽しみたい。

【他助成グループや関係機関との連携】

- NPO 神田学会様、町会様と連携、地域の方、自治体の方、企業の方の紹介をいただく
- ちよろぼ様主催会議などに参加
- かがやきプラザ様(千代田区社会福祉協議会)様との連携・コラボ企画
- 大妻女子大学様、watage 様等地域の大学、活動団体と連携

【他の助成グループと共有したいノウハウ】

- 定例会をオンラインで開催し内容・報告をオープンにし Youtube 配信(限定公開)している。
- 会議記録をデジタル化、チームに配信することで事務作業量削減。今後の活動拡大に備えて秘密保持の観点から、このオープン定例会とは別にセキュリティの高いシステムも活用。
- 様々な体験を通して、「楽しい活動であること」をメンバーが共有。主体的な活動につなげられるよう、オープンダイアログの場を設定している。

【今後の活動スケジュールなど】

藍の会に関わる方々が主体的に楽しく参画できるよう、多様な方々と関係を丁寧に結びます。

- 神田藍の栽培や苗、タネを繋げていく活動
- 藍染や街の文化・歴史を学ぶための街歩きやイベントなど、体験型の活動
- 育てた藍を、自分ならではのものや他者が喜ぶものに形づくる場や機会の創出
- 交流や相互学習を目的とした会員制度の構築
- デジタルを活用し、誰もが参画できる仕組みづくり

これに加えて、皆で対話しながらアイデアを出し合い、無理なく実施できる活動を目指します。

単なる商品化を目指すのではなく、参画することによって学び合える場や機会を創出し、資金面、人材面、運営面での持続可能な活動を実現します。

皆さんが藍の会に関わることで、10 年、50 年、100 年先の未来に夢のある物語を描けるようにしていきたいと考えています。

【まちサポ事務局への要望事項】

自治体や関係団体の動きや最新情報が得られるようにしてほしい

第 24 回 千代田まちづくりサポート年度報告(普請部門)

助成年度(回)	2020 年度	報告回数	4 回
グループ名	優美堂再生プロジェクト実行委員会		
活動テーマ	優美堂を再生しコミュニティ形成拠点として多様な文化活動を誘発する。		
代表者名	中村政人		

【これまでの成果・実績】

優美堂のコミュニティスペースの特性であるカフェとギャラリー機能を生かしたプログラムを企画・制作しています。主な活動プログラムをセレクトして報告いたします。

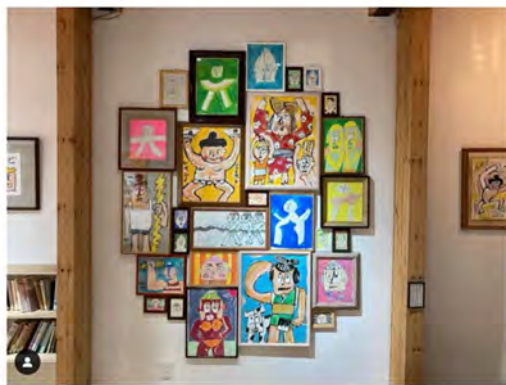
★あらすけ 個展「神田わっしょい」

2024 年6月27日(木)～9月10日(火)

○関連イベント 9月8日(日)

神田わっしょい meet walkingpractice

神田の街を歩き回り車椅子ユーザーの視点を体験するプロジェクト

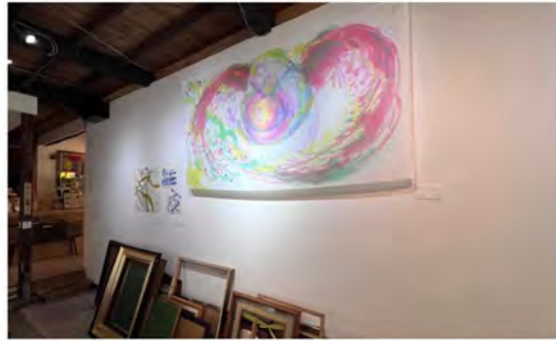


★鍋島美千乃個展「窓の外」

9月12日(木)～12月17日(火)

関連イベント11月9日(土)

特別イベントガムラン演奏会『窓の内』

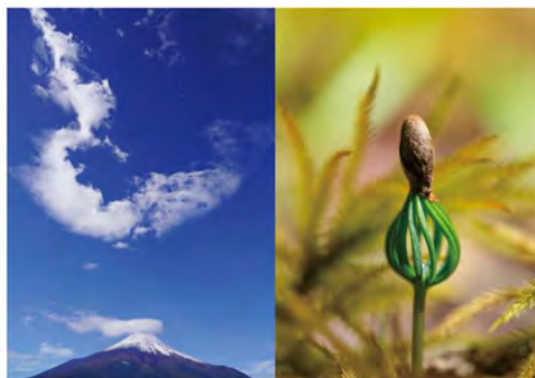
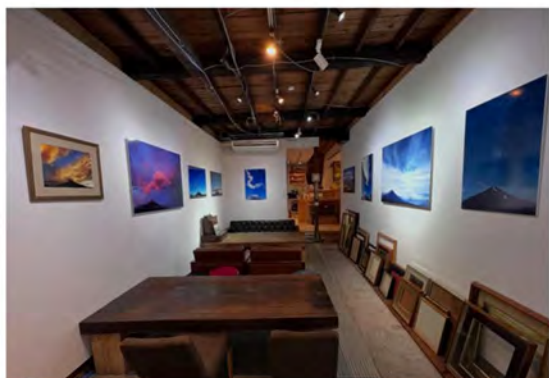


★山咲めぐみ個展「空の息吹/土の吐息」

12月19日(木)～3月11日(火)

関連イベント 3月8日(土)

山咲めぐみ&久保金司(NPO 法人神田学会理事)トークセッション



★アミーナ・アリジャーマン・アルアリ AIR 成果発表展示「Unseen Publics」

2025年3月25日(火)～30日(日)

★タニャ・バスキング AIR 成果発表展：「Seidenki (セイデンキ)」

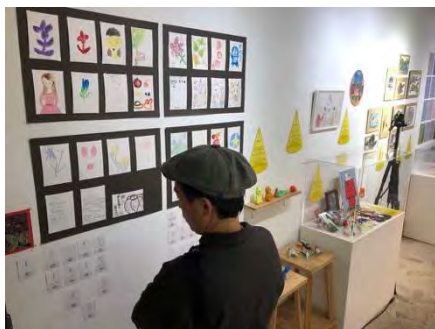
2025年3月29日(土)

★「オーライ展」

日時：2025年3月14日(金)～16日(日) 11:00～19:00 (最終日は17:00まで)

主催：千代田区障害者よろず相談 Light(ライト)

都内 11 箇所の精神科病院に入院する方たちの作品を展示



★【地域の旬の食材シリーズ】

茨城いちごの店頭販売&いちごスイーツ販売

2024年4月7日(日)、4月20日(日)2025年3月2日(日)



★長野県東御市(とうみし)の高地野菜の販売&野菜たっぷりランチ

2024 年 7 月 4 日(木)~10 月末

ブロッコリーと無農薬の季節のお野菜を店頭販売。またその野菜をたっぷり使った、野菜たっぷりランチも好評。



★山梨の葡萄の販売&葡萄スイーツ販売

2024 年 8 月 3 日(土)~9 月中旬

甲府の林野静玉苑の三代目が情熱をかけて作る葡萄を店頭販売。

収穫してすぐ送ってくださるので、鮮度抜群でぷりぷり。特にシャインマスカットを使ったテリーヌゼリーは毎年問い合わせが来るほど人気。



★【優美堂ニクイホドやさしいマーケット】

2025 年 1 月 26 日 (日)

出店：靴のつるが（靴づくりワークショップ）、Enkel（陶器）、93cho（写真のお散歩ワークショップ）、西川・森の市場（香り袋）、影山麴店（あさづけ納豆）、 haneyworks（アクセサリー



★【正則学園の「花いけ男子部」】

地元の男子校、正則学園の『花いけ男子部』が毎週、優美堂の店頭のショーウィンドウで花いけを行っている。彼らは、第 48 回全国高等学校総合文化祭、花生けバトル部門で優勝の快挙を果たした。



★アフロキャベツナイト

2025 年 3 月 29 日(土)

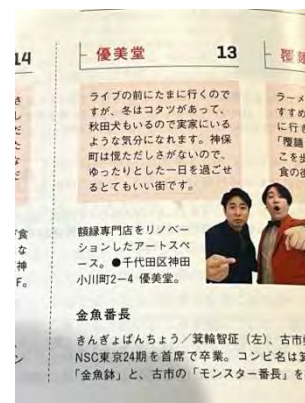
銚子のキャベツ農家、坂尾さんによる、キャベツの店頭販売。(11 時半～16 時)

16 時半からは、坂尾さんのトークを聞きながら、キャベツのコース料理を楽しむイベントが行われ 24 人の参加者が集まった。参加者はアフロヘアのカツラを着用しユニークな交流会となった。



【活動に対する外部評価(地域、町会など)】

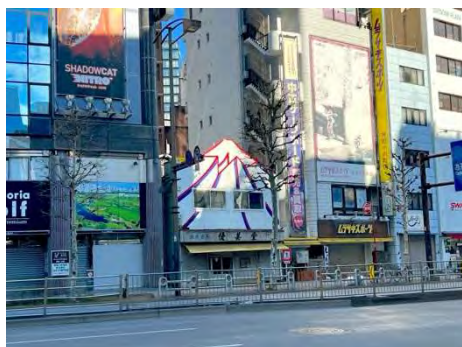
地域において優美堂は額装店としての認識からカフェ&ギャラリーとしていろいろなコミュニティ活動ができる場所として認識されている。秋田犬の看板犬がいることで子供達や多くのファンの来客が増えている。冬期は、こたつでゆったりとくつろぐこともできるカフェとして地域の人に人気となっている。優美堂は、神田の木造看板建築として貴重な文化資源として景観的にも個性的な魅力を持ち地域のランドマークとして認識されている。



ブルータス誌(2025 4/15)の東京特集において「注目の東京エリア_神保町」にて優美堂が紹介される。

【現在の計画(地域の課題とその役割)】

コロナ禍において始まった優美堂再生プロジェクト。コミュニケーションの大切さと地域の貴重な文化資源である看板建築を構造補強しコミュニティ拠点として再生したことは、神田の地域力、文化力を発信するという点においても重なる役割を果たしている。5 年という期限付きのプロジェクトのため契約終了後の活用がどのようなものかが課題である。



優美堂外観



秋田犬「のの」誕生会

【現在の活用プログラム】

※当初の事業収支や利活用計画からの変更点や改善点はありますか。

活動が順調な場合は、その要因など。

事業収支は、安定した運営状態といえる。

当初の計画である AIR 事業は、ギャラリーの利用で海外のアーティストが制作、展示を展開し徐々に増えてきている。

千代田区在住の地元作家の個展等、通常の商業ギャラリーでは、取り上げられない作家を企画している。また、ライブでお客様の前で作品を描く企画は、アーティストと直接触れることができる企画として作家にもお客さんにも好評である。

【現在の運営体制】 ※運営メンバーの構成の変化や増減

大きな変化はなく運営体制は維持できている。

【交流拠点としての利用頻度】 ※区民や在勤者、助成グループの利用回数など

月 1 企画の頻度で展覧会、トークなどの自主企画、スペースレンタルの利用回数も年々増えてきている。コミュニティスペースとしての利用状況は広がってきている。

2025 年 2 月 1 日テレビ東京の【モヤモヤさまぁ〜ず2】神田特集において「額縁屋さんがカフェに」と地上波 TV で全放送され神田発の認知度が高まった。

優美堂の前で外観を撮影している人が多く目にするようになった。

【現在の維持管理方法】

※助成を受けた改修内容は適切でしたか。1年経過後、追加補修が必要になった、維持管理費が予想以上にかかった、工夫した回収が功を奏したなど。

建築的な改修において特に大きな問題はおきていない。

【今後の方針】

自主企画、レンタル企画も活発に運営が続いている。AIR 事業は宿泊施設のニーズよりスタジオ、展示事業の展開が広がりを見せてきている。残り約 1 年の期間をいかに充実した使い方ができるか、広がってきた優美堂利用者、ファンの人達との文化的交流活動を活発に展開していきたい。

助成年度(回)	令和元年度(第19回)	報告回数	5回目
グループ名	「神田珈琲園」再生プロジェクトチーム		
活動テーマ	JR 神田駅高架下で創業 60 年、地域に愛され続ける『神田珈琲園』の再生		
代表者名	八戸 建		

【これまでの成果・実績】

1957 年 神田駅高架下(現在の所在地)にて創業

2016 年ごろ JR の高架耐震補強に伴い、退去・移転を迫られるも、この地で店舗を継続したいと粘り強く交渉。従前建物は解体せざるを得ないが、耐震補強工事後に新たな店舗を再建して営業できることに。

2018 年 5 月 工事のため一旦閉店

まちづくりサポート普請部門に応募、1 次審査・調査活動・2 次審査を経て助成決定。

工事費の高騰、金融機関との交渉難航など数々のハードルを乗り越えて・・・

2020 年 7 月 15 日 リニューアルオープン

クラウドファンディングで目標金額(250 万円)達成

11 月中旬から 2 階展示スペース(ギャラリー)一般貸出再開
ちよだニャンとなる会さんとのコラボ

常連客の方による猫のイラストオリジナルグッズ販売開始

ちよだ社協の地域サロンの場として提供開始

地域の情報ステーション

2022 年 4 月 神田珈琲園アプリを作成、運用開始

2023 年 4 月 ホームページリニューアル

神田珈琲園の歴史がわかるトップページ

7 月 神田外語学院の授業(フィールドワーク)に協力、

11 月に授業で活動紹介

11 月 2 階で鉄道にまつわる写真展と落語会を開催

2024 年

取材対応(飯尾和樹のずん喫茶、あらぶんちょ、旅の手帳等)

ギャラリー利用者同士で「日本の文化を世界に伝えよう」と企画・実行

お客様のリクエストも取り入れながら、新しいメニューの創作も日々取り組んでいます。



1960 年頃の外装



2020 年
リニューアルオープン時



ギャラリー利用者募集中！

第 24 回 千代田まちづくりサポート年度報告(普請部門)



リニューアル後の店舗内

クラウドファンディング



お客さま発案のコラボグッズ



神田祭でアイスコーヒーを振舞い



鉄道の写真展と落語のコラボ



まちづくりのフィールドワーク



「あらぶんちょ」取材
写真:東京ケーブルネットワーク
X(旧ツイッター)より引用



おかげさまでリニューアルから4周年
(今年7月で5周年!)

【活動に対する外部評価(地域、町会など)】

昨年に引き続き、今年3月31日に価格改定(値上げ)を行いました。原材料の高騰や水光熱費の高騰は続き、経営面は大変きびしい状況ですが、地域や常連の方々も引き続きご利用・ご支援いただいています。

〔日本経済新聞(2025/2/18)「コーヒー豆高騰、喫茶店が窮地 高齢化・経費増との三重苦」で取材〕

【現在の計画(地域の課題とその役割)】

・ちよだ社協さん経由で、引き続き地域サロンや団体の活動の場所として活用いただいています。

・地域の皆さまや勤務されている方、神田にお越しになられた方などが落ち着いたひと時を過ごせるよう、また、地域のために何かしたいという方たちの活動やつながりの場となるよう、日常での対応やイベントの企画・開催、地域の各種団体との連携など、引き続きスタッフ一同、全力で対応していきます。

【現在の活用プログラム】

神田地域でも物価高騰や後継者不在などにより老舗店の閉店が相次いでいますが、地域の皆さまや古くからのお客様をはじめ、テレビや取材記事をみて来られた新しいお客様も増えており、スタッフを通じてお客様同士の交流も育まれています。

【現在の運営体制】

神田珈琲園のスタッフを中心に、設計・監理を担当した建築士の牧野氏、NPO都市住宅とまちづくり研究会のメンバーで構成(とくに大きな変化はなし)。

【交流拠点としての利用頻度】

- ・店舗入口の掲示板には、まちみらいニュースやちよだボランティアだよりなどの地域の情報誌も置いています。お客さまが店内で珈琲を飲みながらゆっくり閲覧したり、自由に持ち帰られています。
- ・地域や町会の打合せ、まちづくりに取り組む団体などに利用していただいています。ちよだ社協さんなどを通じて、地域の活動団体に紹介していただき利用してもらっています。
- ・ギャラリーとしての活用を通じて、利用者同士のゆるやかなコラボレーションが生まれてきています。

【現在の維持管理方法】

おおむね順調に使用できています。年々ひどくなる猛暑でエアコン増設や、活動を通じて学生さんからご指摘のあったたばこの煙対策など、都度対応しています。

【今後の方針】

- ・利用客や地域の方たちのニーズや課題をテーマとしたミニ講座やワークショップ、相談サロンなどを企画・開催していきたいと考えています。
- ・また、地域の方々の活動の場として幅広く活用していただけるよう、ホームページやSNSを利用して情報を発信したり、関係団体とのネットワークの構築と情報交流、連携イベントの企画・実行などに取り組んでいきます。

☆活動やミーティングの場、情報の発信・交流、イベントや各種展示、コラボ企画など、『神田珈琲園』をぜひご活用ください！(お気軽にご相談ください！)



【まちづくりサポート事務局(公益財団法人まちみらい千代田)】



住所: 千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクエア4階

電話: 03-3233-7556(直通) / FAX: 03-3233-7557

メールアドレス: machisapo@mm-chiyoda.or.jp

まちサポ特設サイト: <https://www.mm-chiyoda.or.jp/machisapo>



〔賛助会員入会のご案内〕

公益財団法人まちみらい千代田では、「住宅まちづくり」「産業まちづくり」「協働まちづくり」の3つの事業を柱として、まちづくりに関する事業を展開しています。

ぜひ、賛助会員に入会いただき、千代田区のまちの活性化をご支援ください。

なお、千代田まちづくりサポートで交付される助成金の一部は、賛助会員の皆さまの会費が充てられています。

(1) 法人会員 1口以上(1口2万円)

(2) 個人会員 1口以上(1口3千円)

詳細は下記電話番号まで、お問い合わせください。